

総務管理課 ☎ 0824-64-2071

**STOP!!****農作業事故～秋の農作業本格化！ここに注意！！～**

広島県内での農作業事故は年間500件程度発生し、年々増加傾向にあります。農業用機械等を使用する場合は、メンテナンスや操作方法の再確認を忘れずに行い、農作業事故を未然に防ぎましょう。また、自らを過信せず「事故を起こしてしまうかもしれない」という意識を持って、安全な作業を心がけましょう。

**■農作業事故を防ぐポイント**

- 1) 除角の徹底(牛と接する場合の安全確保)
- 2) 牛の移動時には補助者と一緒に作業を行う
- 3) フォークリフト等を運転する際のヘルメット装着
- 4) 機械の安全点検や整備を十分に(作業はエンジンを止めて)
- 5) ゆとりを持った作業工程の作成
- 6) 一緒に作業する人との情報共有
- 7) 危険を伝える周囲からの呼びかけ
- 8) 安全な服装や保護具の着用
- 9) 天気予報や作業環境の事前把握

事業推進課 ☎ 0824-64-2072

**台風シーズン・万全の対策を**

今年も「台風シーズン」を迎えました。天気予報や警報等に注意され、万一の被害を最小限に食い止められるよう、事前・事後の対策に努めてください。

なお、これらの作業にあたっては十分安全を確認された上で行ってください。

万一の災害によって、酪農主要施設の損壊や集乳作業等に影響がある場合は、当組合の事業推進課(電話：0824-64-2072)、または各事業所・倉庫に連絡をお願いします。集乳に関する問合わせは、三次CS(電話：0824-64-2258)迄。

**■台風対策をチェックしてみましょう！****1) 事前対策**

- \* 強風被害のため、畜舎・堆肥舎・倉庫等の補修補強の実施
- \* 雨水等の吹き込み・流入を防ぐため周辺の排水施設等の点検・補強等実施
- \* 家畜の感電死や火災等を起こさないよう、電気設備等の点検、雨水対策
- \* 柵等の破損を防ぐための補強等の実施
- \* 各地域において、あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電等による対応ができるように努める
- \* 堆肥舎から排泄物の流出を防ぐためシート等での対策に努める

**2) 事後対策**

- \* 水で濡れた飼料で腐敗の恐れがあるものは、家畜に給与しない
- \* 畜舎に雨水等が流入した場合、速やかな排水等努め、水等が引いた後に消毒の実施。土砂流入の場合は、再度の土砂流入等の事故に十分注意しつつ土砂を除去する
- \* 堆肥舎に雨水等が流入した場合、オガクズ等で水分調整を行い、再度発酵
- \* 飼料畑が冠水したり、土砂の流入・侵食等発生した場合は速やかに現状回復に努める

**エクセレントに輝く！ 藤本房男氏所有牛 90 点  
平成 25 年度上期体型調査・牛群審査実施**

去る7月16日(火)から19日(金)の間、16戸・106頭の体型調査を実施した。得点は平均79.3点(全国平均同水準)、後代検定対象牛の最高得点は81点、同期牛が82点の結果であった。

牛群審査は、8戸59頭の調査を実施し、得点は平均84.2点で、藤本房男氏所有牛が90点のエクセレントに輝いた。

**■藤本氏保有牛**

ウイステリア ブック セント サドウー  
1217356812 父牛 80H1056  
H20.9.8 生 3産 4歳10ヶ月

## 無脂乳固形分 測定方法を変更 (お知らせ)

平成25年10月1日から

中国生乳販売農業協同組合連合会が生乳検査業務を委託する「一般社団法人岡山県畜産協会」は、平成25年10月1日から無脂乳固形分の測定方法を変更します。

変更内容は下表のとおりです。

変更前	変更後
α 値を用いた算出法	直接測定法
▼無脂乳固形分＝タンパク+乳糖+α 値 ※α 値＝1	▼測定機を無脂乳固形分直接測定モードに変更して運転

## 全日本ホルスタイン共進会・北海道で開催決定

平成27年10月23~26日

社団法人日本ホルスタイン登録協会主催の「第14回全日本ホルスタイン共進会」の開催が決定されました。

- 会期:平成27年10月23日(金)~10月26日(月)
- 場所:北海道ホルスタイン共進会場(北海道勇払郡安平町)
- 出品区分・頭数:18部門400頭
  - (1)ホルスタイン種:一般(10部)260頭  
後検娘牛の部(4部)80頭  
高校特別枠20頭(該当月齢区分に出品)
  - (2)広島県の第14回割当頭数:一般:2頭+α  
後検娘牛の部:12頭(中国四国ブロックで検討)  
高校特別枠 :3頭(中国四国ブロックで検討)
  - (3)今後の日程(予定)
    - ①全共広島県対策協議会の設置 :平成26年11月中旬
    - ②出品申し込み締め切り :平成26年12月下旬
    - ③第一次巡回審査・調査 :平成27年1月乃至2月
    - ④第二次巡回審査・取り纏め :平成27年4月乃至5月
    - ⑤全共広島県対策協議会最終選定 :平成27年8月中旬
    - ⑥全共出品申し込み :平成27年9月上旬

## 再徹底“体細胞検査手順” サンプル採取の注意点(お願い)



### 1) デラバルセルカウンターの検査結果に疑問

8月31日開催の酪農任意組織団体代表者会議において、デラバルセルカウンターの検査結果において、同じサンプルでもバラツキがあり、岡山生乳検査センターでの検査結果とも大きく誤差が生じることから、信ぴょう性が低いとの指摘がありました。

### 2) デラバルセルカウンターの設置背景と目的

デラバルセルカウンターは、平成24年3月31日の中国生乳販連三次生乳検査センターの閉所にあたって、広酪の組合員が安全・安心な生乳を出荷するために、乳房炎牛の特定に活用し、体細胞ペナルティ低減を図ることを目的として、平成23年11月に三次CS・西部事業所・東部事業所に配備、南部地域においては平成24年5月から東広島家畜診療所の協力を得て検査体制を整え、合計4台を配備し運用しております。

### 3) 原因

デラバルセルカウンターの販売担当者を招いて原因を調査したところ、職員の検査手順で、検査時の生乳サンプル温度が低く、生乳サンプルを攪拌する時に泡が立った状態で検査を行ったと想定され、バラツキが出たと思われます。

### 4) 改善

このことから、再度、検査手順を確認し徹底するため、デラバルセルカウンターの販売担当者を招き、正しい検査手順の研修を行いました。

なお、この検査機器における精度検査は年1~2回定期的に行っていますが、検査誤差が生じた場合は、速やかに精度検査を行うこととしております。

### ■デラバルセルカウンターの 測定精度(フォソマチックとの比較)

体細胞数値	測定精度
10万/ml	±12%
40万/ml	±8%
100万/ml	±7%

### ■組合員の皆さんへのお願い

#### 検査サンプルの採材時の注意点

- 1 採材量はスピッツ管の8分目まで取って下さい。
- 2 4分房をスピッツ管に採材する場合は、均等に採材して下さい。

※バルク乳の検査は、サンプル採材方法や測定時の環境によって測定値が異なります。

